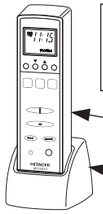
リモコンケースの使いかた

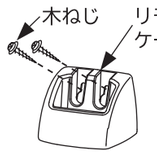
●リモコンをなくさないように、置き場所として壁などにリモコンケースを取り付けてご使用ください。



使用状態

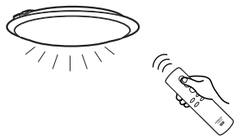
取り付けかた

●リモコンケースの位置を決め、付属の木ねじ２本で取り付けてください。



※リモコンケースにリモコンを入れて器具の近くに置く時のために、リモコンケースを上にずらして取り外せるように取り付けると便利です。

●リモコンは、リモコンケースから取り出し、器具に向けて操作してください。



リモコン使用上のご注意

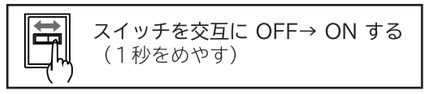
●壁スイッチはＯＮにしてご使用ください。
●室温が低いと(10℃以下程度)、蛍光ランプ点灯直後にリモコンでの切り替えができない場合があります。この場合、しばらくしてから切り替え操作を行ってください。
●天井・壁・床の色や材質によってはリモコンが動作しにくい場合があります。
●リモコンスイッチと器具の間にしゃへい物がありますと器具が動作しない場合がありますので、しゃへい物を避けて操作してください。
●温度が高くなる物の上や湿気の多い場所でのご使用や、水にぬらしたりしないでください。また、リモコンを落としたり衝撃をあたえたりしないでください。変形や故障の原因となります。
●“タイマー予約”の設定で動作させる場合は、リモコンケースに入れてご使用ください。
また、リモコンを置く場所から器具が動作するかご確認のうえご使用ください。
●器具や周囲の環境条件により、動作しにくい場合があります。
器具の真下付近にリモコンケースに入れて置くことをおすすめします。

●乾電池の寿命時に電池残量表示が点滅を始めますので、乾電池を交換してください。交換後は通常通り使用できます。また、表示画面が消えてから乾電池を交換した場合、時刻表示および予約内容が工場出荷時の状態に戻りますので、再び設定してください。
●点滅時は“タイマー予約”は動作しませんが点灯切り替えの押しボタンでの操作は可能です。

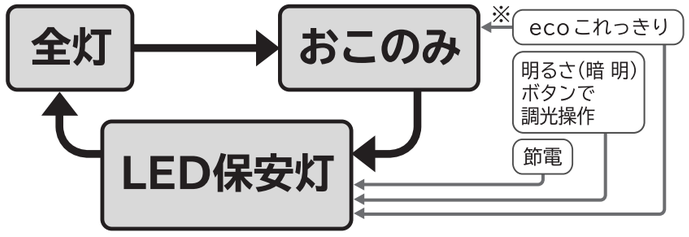
壁スイッチの操作　壁スイッチで次のような操作ができます。

点灯モードを切り替える

壁スイッチを、約１秒を目安に OFF → ON すると点灯モードを切り替えることができます。

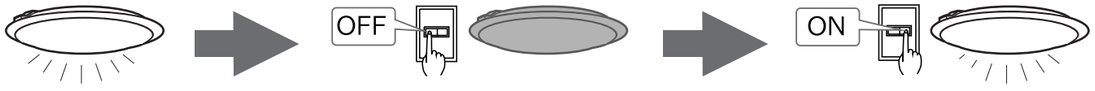


● ecoこれっきりボタン、節電ボタン、明るさ(暗 明)ボタンで操作後、切り替え操作をすると、LED保安灯に切り替わり、全灯⇒おこのみ⇒LED保安灯 と、繰り返し切り替わります。
※ecoこれっきりボタンを押してすぐ切り替え操作をすると、おこのみ　に切り替わる場合があります。
● 節電ボタンの節電は解除されます。



点灯・消灯

● 壁スイッチをOFFにして外出し、帰宅後、壁スイッチをONにすると、壁スイッチをOFFにする前の点灯モードになります。
※但し、明るさ(暗 明)の操作した場合、および、節電の場合は、おこのみ になります。



本体の取り付け

4 蛍光ランプなどを固定しているテープをはがしてください。
※蛍光ランプに無理な力を加えない。破損によるケガや、故障の原因となります。

5 ランプソケットが確実に蛍光ランプの口金にに差し込まれ、ランプホルダーに確実に取り付いているか確認してください。

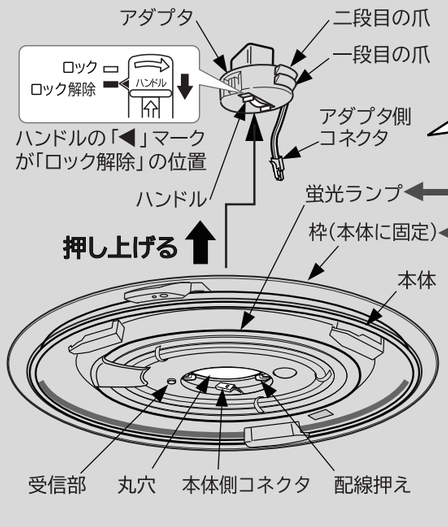
※不完全な場合、火災や落下の原因となります。

➔ P.6
「カバーの取り外しかたとランプの交換方法」③、④をご参照ください。

6 ハンドルが「ロック解除」の位置になっていることを確認してください。

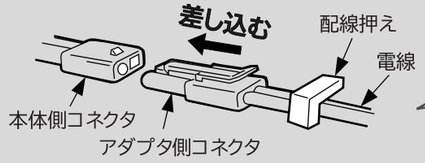
7 リモコンをひんぱんに操作する方向に受信部が向くように本体の向きを合わせ、アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、丸穴をアダプタに合わせて、アダプタ両側の爪に掛かるまで押し上げてください。
※蛍光ランプや枠に、無理なちからを加えない。

本体がガタつく場合はさらに押し上げてください。
（爪は上下二段あります。）



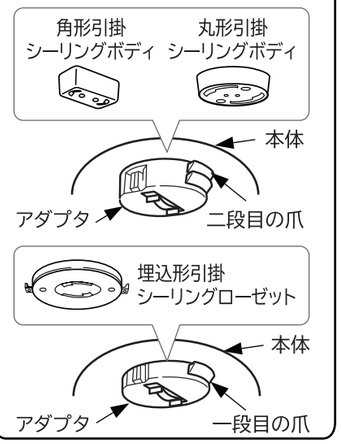
8 ハンドルを「ロック」の位置にずらしてください。

9 アダプタ側コネクタと本体側コネクタを接続し、電線がたるんでいる場合は、電線を「配線押え」に引っ掛けてください。



必ず守る
●本体裏側のスポンジや虫ガードをはがさない。
※回転防止や防虫効果のためです。

必ず守る
●天井に付いている配線部品により、本体に掛かる爪の位置が変わるので、必ず下の図を参照し、適切な爪(両側二ヶ所)が本体に掛かっていることを確認する。
※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

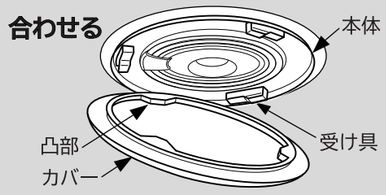


必ず守る
●蛍光ランプや枠に、無理なちからを加えない。
※破損によるケガや落下の原因となります。

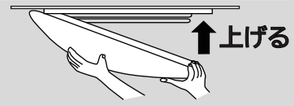
禁止
●コネクタや電線を無理に引っぱらない。
※電線が断線し、感電、故障の原因となります。

カバーの取り付け

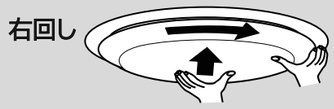
10 本体の内側の受け具の間にカバーの凸部を合わせてください。



11 反対側を押し上げてください。



12 ① 押し上げながら止まるまで右に回してください。
② 確実に止まるまで回したことを確認してください。



禁止
●カバーを正しく取り付けた後は、カバーを無理に回さない。
※器具の破損、落下によるけがの原因となります。

必ず守る
●取り付け後、カバーを軽く下にひっぱり確実に取り付いているか確認する。
※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。